



## ケーブルカーとロープウエーは、どちらがうの

### 地上を走るケーブルカーと空中を動くロープウエー

ケーブルカーは、車両にケーブル(針金などをより合わせて作った、太くて強い綱)を結び、巻き上げ機で登ったり、降りたりさせる鉄道のことです。車両は、ケーブルに引っ張られて、レールの上を走ります。日本語で、「鋼索鉄道」といいます。

1877年、スイスの山岳地帯で登山電車として使われたのが、世界最初です。日本では、1918年に、大阪府と奈良県境にある生駒山に最初のもので作られました。

ケーブルカーは、勾配が急で、しかもきよりが短い輸送に使われ、ほとんどが観光用です。日本では、勾配が急な高尾山、全線が地下を走る黒部、勾配がゆるく、途中駅が四か所もある箱根早雲山などの変わったものがあります。

一方、ロープウエーは、空中に張りわたしたワイヤーロープによって、貨物や旅客を運ぶ輸送機関をいいます。日本語では、「架空索道」といいます。乗り物には、かっ車がついていて、張り出したロープの上をすべります。

ロープウエーは、ゴンドラのある大きなものから、スキーリフト、そのほか土木工事、橋をかける工事、木材の運び出し、鉱石の運び出しなどにも利用されています。ロープウエーを支える支柱と支柱のきよりは、600～1000メートルのものが多く見られます。

### サンフランシスコのケーブルカー

サンフランシスコのケーブルカーは、坂の多い町を走る観光名物で、多くの観光客がケーブルカーに乗って、楽しめます。このケーブルカーは、ちょっと変わっていて、常に一定の速度で動いているケーブルを、車両がつかんだりはなしたりして、走っています。

(監修・青木 国夫)

